

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	洲本市立鮎原小学校 職・氏名 教諭 谷口 つかさ	研究チーム名 (うめばち研究会)
-----------------	-----------------------------	-----------------------

研究テーマ分類番号 (1)

(1) 研究テーマ	
言語活動の充実を目指した授業改善 ～各教科における言語活動事例～	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
6月8日	<p>「言語活動の充実を目指した授業改善」の調査</p> <p>調査場所：洲本市立鮎原小学校</p> <p>調査方法：提案授業の相互参観や講師招聘による研修会実施により、テーマに迫る研究を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習による話し合いの進め方 ・ホワイトボードを活用したまとめ方、発表の仕方の工夫 <p>調査成果：・グループによる話し合いは、思考力（考える力）が育成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードの活用は、時間・思考のつながりに無駄がなく効果的に発表することができる。
7月7日	<p>「国語科における言語活動例」の分析</p> <p>分析方法：言語活動例の講話及び、模擬授業を行う。</p> <p>講師：兵庫教育大学大学院教授</p> <p>分析結果：・各領域別の言語活動例をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文（ことば）を大事にする授業例として「きつねのおきやくさま」を教材とする模擬授業で具体的場面における言語活動事例が実践できた。 ・「聞き分け、つなげ、整理する」ことで、聞くことの充実が達成できる。 ・「話すことの充実」のためには、理由、根拠とセットになっていることが要件である。 ・「視写、聴写、メモ」の使い分けで、「考えをつくり、深め、定着させ、広げる」ことができる。
9月22日	<p>「言語活動の充実を目指した授業改善」についての報告会（講師招聘）</p> <p>実施場所及び人数：洲本市立鮎原小学校、6人</p> <p>講師：兵庫教育大学大学院教授</p> <p>成果と課題：</p> <p>【成果】・話し合い活動を取り入れた授業では、「聞き合うこと」「自分の考えをまとめること」が訓練され、活発な意見交流ができるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科において、言語教育（ことばの指導）が実践できつつある。 <p>【課題】・思考が耕されるとそれに伴う「言語の習得」にも力をいれなければならない。「学習タイム」において全校的に、反復学習プリント「漢字・計算」、「読書」活動を実施していく補充学習が必要である。</p>

